

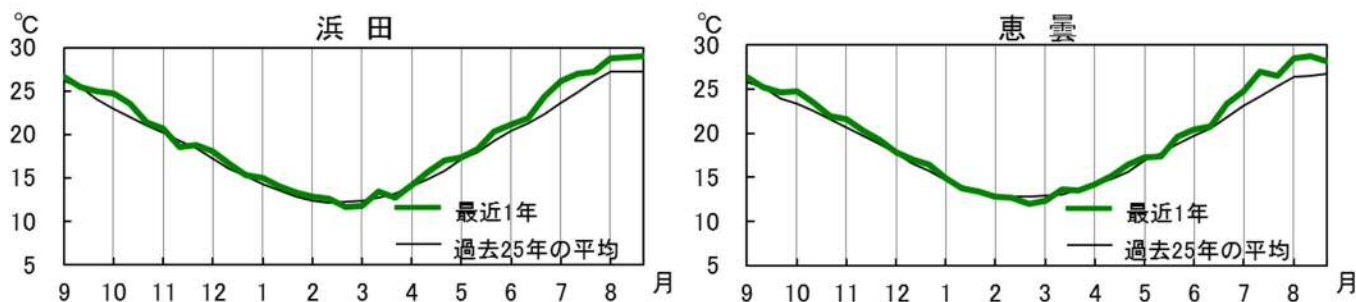


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《8月の海況》



8月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	28.9℃	+1.7℃	かなり高め	28.4℃	+1.9℃
中旬	やや高め			やや高め		
下旬	やや高め			やや高め		



《8月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の5割、サバ類は平年の8割でした。隠岐地区ではウルメイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は34.8トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ウルメイワシは1,960トンで平年の24倍となりました。例年漁獲量の多いブリは376トンで平年の4割、マイワシは15.1トンで平年の1割未満となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の60%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は63.8kgで平年並みでした。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の95%)が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は68.0kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではアカムツ、キダイ、ヤナギムシガレイを主体に、1統1航海当りの漁獲量は10.6トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、アカムツは平年の1.3倍、キダイは平年の9割、ヤナギムシガレイは平年の1.3倍でした。その他、マダイは平年の9割、アンコウ類は平年の6割、マトウダイおよびソウハチは平年の4割、アナゴ・ハモ類は平年の3割、ムシガレイは平年の1割の水揚げでした。

【ばいかご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は14.3トンと平年の9割、1統1航海当りの漁獲量は1.0トンで平年の1.0倍でした。エッチュウバイの漁獲量は13.7トンで平年の1.0倍、銘柄別では「中」「中大」および「大」の3銘柄で全銘柄の8割以上を占め、特に「大」は4.2トンと平年の1.7倍でした。

【しいら漬け漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬け漁業はシイラ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は760kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは12.1トンで平年の5割、ヒラマサは6.0kgで平年の1割未満となりました。

【定置網漁業】

出雲地区ではシイラ、マアジ、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は13.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは平年の2.1倍、マアジは平年の1.6倍、イサキは平年の1.9倍でした。石見地区ではサバ類、カンパチ、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は11.8トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、サバ類は平年の1.6倍、カンパチは平年の2.3倍、イサキは平年の2.9倍でした。隠岐地区ではブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は5.9トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の7割でした。

【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は16.1kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の4割でした。石見地区ではケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は16.2kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の6割でした。隠岐地区では、ケンサキイカ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は15.0kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の6割でした。

【令和4年8月の漁獲統計】

※令和4年4月号から漁模様（◎、○、▲）の記載はありません。

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—
	隠岐	ウルメイワシ	2,992トン	117%	115%	34.8トン	135%	162%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	2.2トン	43%	31%	63.8kg	90%	99%
	西郷	スルメイカ	5.7トン	1528%	58%	68.0kg	218%	76%
沖合 底びき網	浜田	アカムツ、キダイ、ヤナギムシガレイ	95.8トン	64%	74%	10.6トン	85%	98%
ばいかご	石見	エッチュウバイ	14.3トン	65%	89%	1.0トン	78%	102%
しいら漬け	石見	シイラ	12.2トン	129%	42%	760kg	137%	66%
定置網 (大型)	出雲	シイラ、マアジ、イサキ	179トン	90%	94%	13.8トン	90%	94%
	石見	サバ類、カンパチ、イサキ	47.2トン	117%	84%	11.8トン	117%	84%
	隠岐	ブリ	17.6トン	131%	63%	5.9トン	131%	63%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ	19.6トン	84%	49%	16.1kg	80%	73%
	石見	ケンサキイカ	22.2トン	83%	63%	16.2kg	72%	84%
	隠岐	ケンサキイカ	10.9トン	107%	64%	15.0kg	89%	77%

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ

「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ

「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ

「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ